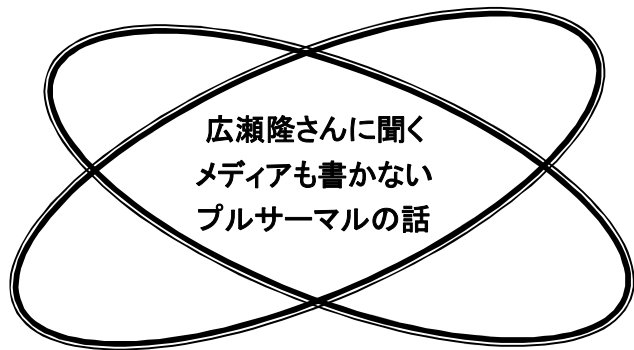


広瀬隆 講演会



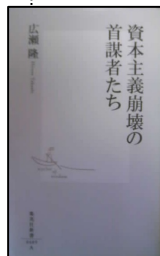
広瀬隆さんに聞く
メディアも書かない
プルサーマルの話

プルサーマル 『危険な話』

講師紹介

広瀬隆（ひろせたかし）氏

作家。1943年東京都生まれ。65年早稲田大学理工学部卒業。81年『東京に原発を！』出版。著書に『アメリカの経済支配者たち』、『世界金融戦争』など。最新刊『資本主義崩壊の首謀者たち』。



とき 2009年11月1日（日）

開場：13時 開会：13時30分 閉会：16時頃

ところ 仙台弁護士会館

（宮城県仙台市青葉区一番町 2丁目9番18号）

資料代：500円

私達は、女川プルサーマル問題について推進・反対に限らず、県民誰もが参加してこの問題に取り組めるように宮城県に対して「プルサーマル公開討論会を実現させる」ために活動しています。広瀬隆さんの講演会で、みなさんとプルサーマル問題への理解をよりいっそう深めたいと思います。ぜひご参加ください。

主催：プルサーマル公開討論会を実現させる宮城の会

申し込み 連絡先：022-373-7000（篠原） hag07314@nifty.ne.jp（館脇）

～ メッセージ ～

「プルサーマルは若者の未来を奪う」

高濃度の原爆材料プルトニウムを世界で類のないほど大量に使うプルサーマル計画は、暴走事故で東北全土を一瞬で地獄に変える無謀な人体実験だ。住民は、一体どこへ逃げろというのか。しかも運転後には、500年も地元で保管しなければならない超危険な使用済みMOX燃料が女川に残され、宮城県と東北地方が「放射能の墓場」とみなされるようになる。こんなことを強行すれば、若者がいなくなる。商店街、地場産業をあげて、一刻も早く計画を白紙撤回させよう。

広瀬隆

11月1日講演会会場 仙台弁護士会館
宮城県仙台市青葉区一番町 2丁目9番18号



プルサーマル公開討論会を実現させる宮城の会 について

(宮城県への要望書より抜粋)

2008年11月5日、東北電力が女川3号機へのプルサーマル導入へ向けての事前協議を、宮城県、石巻市、女川町に対して申し入れました。しかし、プルサーマルについては、安全性だけでなく、そもそもその必要性、経済性に対する疑問の声も多くあります。これらのことから、宮城県においても、電力会社や国に追従するのではなく、あくまで県民の安全を守る立場から、透明性の高い情報公開の下に、県独自の検討と判断を行なうことが不可欠であると考えます。そのための具体的な施策として次の2点を要望します。

- 1、女川原発へのプルサーマル導入の是非について、県民誰もが、賛成・反対の双方の意見を聞き、オープンに質問や意見を出しあえる「公開討論会」を開催してください。
- 2、女川原発へのプルサーマル導入の是非について、宮城県が主体的に判断するために、賛成・反対双方の立場の有識者が参加する「プルサーマル検討会議」を設置してください。検討会議の議論は県民に公開してください。